

クローバー

外来診療担当医表

(令和3年5月現在)

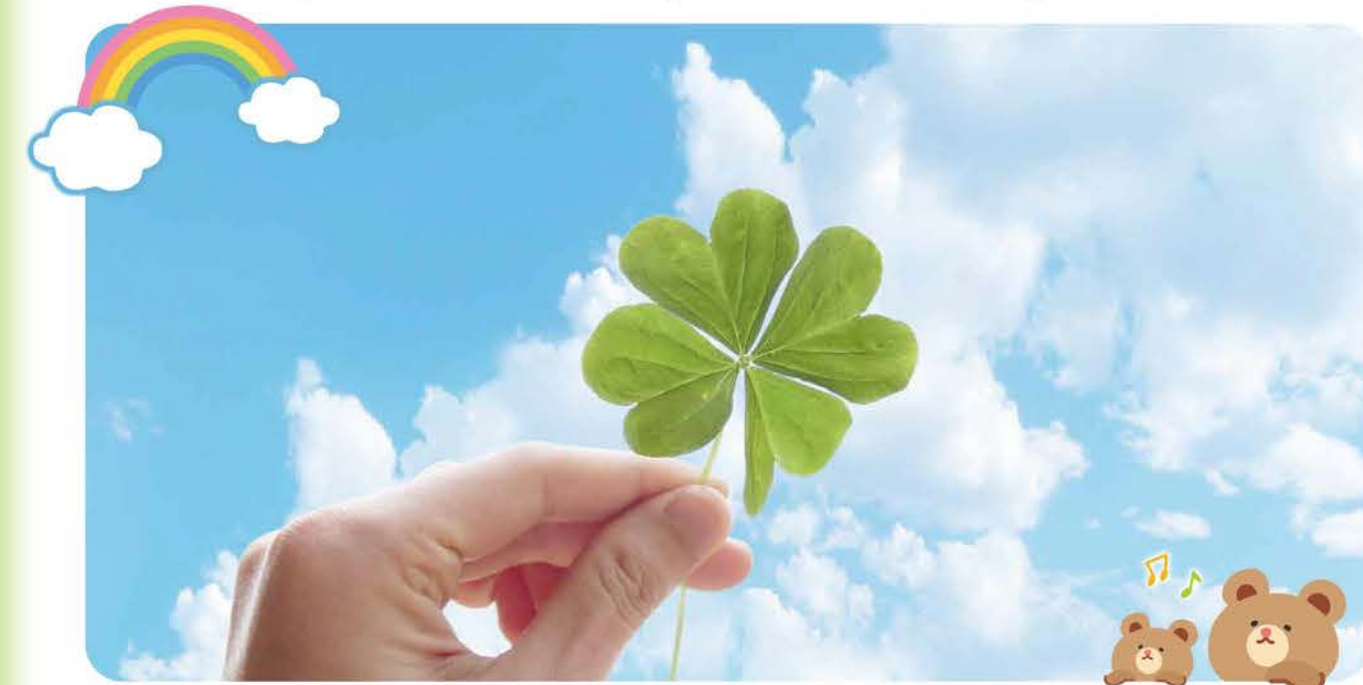
		月	火	水	木	金	
内科	午前	1診 循環器科	【診療開始10:00】 山田 昌央	坂口 裕太	藤木 伸也	飯嶋 賢一	【診療開始10:30】 武井 康悦
		2診 専門内科	<内分泌代謝> 志熊 淳平			<内分泌代謝> 田丸 新一	<呼吸器内科> 小林 克行
		3診 一般内科	堀内 陽介	阿部 聡		阿部 聡	堀内 陽介
		4診 専門内科	<一般内科> 小川 裕介			<呼吸器内科> 小林 克行 (月2回)	
呼吸器外科	午前			※1垣花 昌俊 (第1・3)			
泌尿器科	午前	内科4診		豊嶋 豊照 (月3回)			
脳神経内科	午前	1診	齋藤 豊		齋藤 豊	齋藤 豊	齋藤 豊
		2診	酒井 直子	永井 香津子	永井 香津子	永井 香津子	五十嵐 博中 (第4のみ)
外科	午前	三枝 主弦	大学医師	三枝 主弦	渡辺 隆文	三枝 主弦	
脳神経外科	午前	1診	【診療開始10:00】 小澤 常德	倉部 聡	森 宏	小澤 常德	森 宏
		2診	大学医師	渡辺 直人	倉部 聡	鎌田 健一	小澤 常德
		3診	森 宏			森 宏	
整形外科	午前	中山 貴士	中山 貴士	中山 貴士		【診療開始10:30】 山本 格	
※2血管外科	午前		百川 文健		百川 文健		
ペインクリニック(麻酔科) 【診療開始10:00】	午前					大瀬戸 清茂 (月3回)	
眼科	午後				田邊 朝子		
耳鼻咽喉科	午前	松本 好弘	松本 好弘		松本 好弘	松本 好弘	
歯科 口腔外科	午前	口腔外科 一般歯科	安楽 純子	安楽 純子	安楽 純子	安楽 純子	安楽 純子
	午後	口腔外科 一般歯科	安楽 純子	安楽 純子	安楽 純子 (第2水曜以外) 齋藤 夕子 (第2水曜)	安楽 純子	安楽 純子

※1 診察室は整形外科1診となります。 ※2 診察室は整形外科1診となります。

受付時間	午前	全科(眼科を除く) 8:30~11:30 (但し 循環器科 火・水・木 8:30~10:00)
	午後	歯科・口腔外科 13:30~15:30 眼科 13:30~15:30

- 歯科・口腔外科は予約制となっております。診察希望時にご連絡下さい。
- 「お薬の処方」のみは、受け付けておりません。必ず診察をお受け下さい。
- 急患の方はお問い合わせ下さい。
- 医師の都合により予定が変更になる場合があります。ご了承下さい。

編集後記 2021年も約半年が経ち、あっという間に折り返し地点となりました。コロナ禍で休みの日は何をしてお過ごしでしょうかと毎回悩んでいます。この機会に新しいことを始めようかと考えましたが意外と見つからず…。落ち着いたら、外へ出て様々な場所へ行きたいですね。そんな日が早く来てくれることを心から願っています。(Y.K)



2021年4月1日 新入職員がスタッフに加わりました



例年よりも早く桜が開花した4月1日、新たな職員が入職しました。常勤医師2名、看護師13名、薬剤師1名、リハビリ科2名、総勢18名が当院スタッフに加わりました。当日午後からは見事国家試験に合格したEPA看護師候補生2名も加わり入職式が執り行われ、森院長より辞令を受け取りました。

新人研修は昨年に引き続き近隣のホテルを会場とし、院内講師はオンラインで研修を行いました。また外部からも講師を招き「医療機関に求められるサービス」をテーマとした接遇研修、特定社会保険労務士による「労働法令の基礎知識」について学びました。

新入職員の皆さんが一日も早く開花することを期待しております。



血管外科 百川先生のご紹介

令和3年4月1日から三之町病院で勤務を開始した医師の百川文健と申します。専門は血管外科です。しかし、血管外科と言われても、なかなかイメージが浮かばないかと思います。大雑把に言うと心臓・頭蓋内以外の血管を扱う科になります。血管外科が扱う主な疾患としては、胸部・腹部大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤など、幅広い血管の病気を扱っています。



特に日常で遭遇しやすい疾患として、「足の血管のぼこぼこ」で受診する方が多い下肢静脈瘤があげられます。下肢静脈瘤は、10人に1人と言われるほど、多くの方が持っている疾患です。

また、「血管のぼこぼこ」以外でも、足のむくみ、だるさ、こむら返りなどの症状で受診することも多い疾患です。以前までは、下肢静脈瘤の治療として、ストリッピング手術と呼ばれる全身麻酔、大きな切開、長期入院が必要な手術がほとんどでした。

しかし、2011年からレーザー手術（血管内焼灼術）が保険治療として、認可されました。今までの治療と異なり、圧倒的な低侵襲・気軽に手術が受けられるという利点もあり、あっという間に、ストリッピング手術からレーザー手術に日本全国で術式が置き換わっていきました。

2021年時点で、下肢静脈瘤に対する医療技術・機器はさらに進化・改良を重ね、より負担の少なく、安全な治療が可能になっています。

また、下肢静脈瘤以外にも、下肢動脈疾患など足の病気を幅広く扱っており、足についてお困りの方は一度、相談頂ければと思います。

10年以上にわたって血管の専門家である血管外科医として、外来診療および手術を行ってきた経験を活かしながら、三之町病院でより良い血管外科診療を提供できればと考えています。何卒よろしくお願ひ致します。



か し じょう みやく りゆう 血管内 下肢静脈瘤 レーザー治療



当院では

保険適用の (波長 1470nm) 血管内レーザー治療を実施しています!



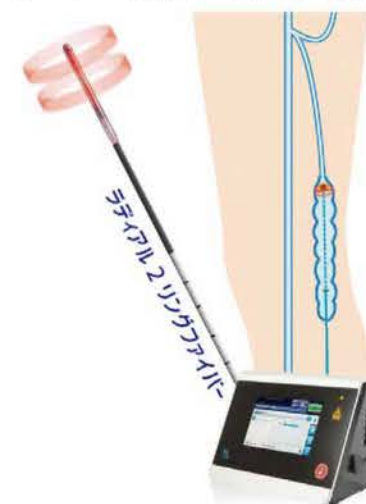
下肢静脈瘤の足

こんな症状はありませんか?



レーザー治療のイメージ

血管内に光ファイバーを通しレーザーの熱で血管を塞ぎます



LEONARDO BONSAI 1470

従来の治療と変わらず健康保険で治療できます!



レーザー治療の良い点

- 手術部位の傷跡がほとんど残りません。
- 短期入院で手術が可能です。
- 術後の痛みや皮下出血が少ないです。

下肢静脈瘤はエコー検査ですぐにわかります。まずは医師にご相談ください。

「血管外科」のご案内

令和3年4月1日より血管外科専門の百川先生が当院に赴任され、このたび『血管外科』を開設しました。そこで今号は『血管外科』について特集します。

百川先生の外来診療日は、毎週火曜日と木曜日のAM8:30～11:30です。

診療内容・専門分野・対象疾患

本邦では男女ともに超高齢化社会となり、血管疾患を発症する方も増加傾向にあります。特に糖尿病、透析治療を受けている方は、末梢血管疾患を合併する事も多く、ますます血管疾患への対応が必要となっています。

血管外科が扱う対象は、まさに全身の血管です。特に当院では、四肢を含めた末梢の血管に対して専門的に治療を行っています。



血管外科の病気

当院で治療を行う病気は、

- ・ 閉塞性動脈硬化症 (足の動脈硬化)
- ・ 急性動脈閉塞症 (足の動脈の閉塞)
- ・ 下肢静脈瘤
- ・ 深部静脈血栓症
- ・ 慢性腎不全の透析用内シャントの造設、維持などです。

また、経過観察・精査を希望であれば各種大動脈瘤なども外来検査などは可能です。さらに、足の病気においては、長期間の集学的な治療(外科、内科、看護のケア)が必要となります。昨今では、そのような足のトータルなケアとして、「フットケア」があげられています。足の病気に対して様々な治療(手術、保存的治療、入院治療など)によるアプローチを行いながら、治療にあたる事が可能です。



閉塞性動脈硬化症

一般的には、足の動脈硬化によっておこる病気です。

歩行時の足の痛みから始まり、足の色調不良、冷感、足先からの壊死に至ることがあります。糖尿病、透析治療中の方は、本疾患を患うリスクは高くなります。

足の症状などが出ている場合には、簡易的な検査(ABI、下肢血管超音波検査)から始まり、造影CT、血管造影、手術(外科手術や、カテーテル治療など)を必要とする場合もあります。当院では、外科的治療、カテーテル治療のどちらにも対応しています。

急性動脈閉塞症

突然、足の痛み、冷感などが出現する病気です。

心臓の不整脈などで、血の塊(血栓)が出現、下肢の動脈を閉塞する病気です。

本疾患は、急激な下肢の血流不良に伴い、下肢の激痛など症状がでてきます。

発症後、なるべく早く血流を再開しないと場合によっては下肢の切断に至ることもあります。

下肢静脈瘤

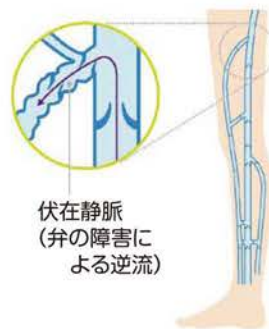
下肢静脈瘤は、足の血管がぼこぼこしていることで気が付くことが多い病気です。一般的に女性に多く、血管のぼこぼこ以外にも、足のむくみ、だるさ、こむら返りなどの症状を引き起こします。

また、静脈瘤を放置していると、最終的には皮膚の色調変化、潰瘍病変などに発展することもあります。

治療方法は、以前は悪くなった静脈を抜去するストリッピングと呼ばれる手術がメインでしたが、2011年から本邦で血管内焼灼術（レーザー治療）が保険治療となって以降は、主流となっています。

当院では、インテグラル社のElvesレーザーを採用、治療を行っています。

また、小さな表面の静脈瘤（蜘蛛の巣、網の目など）に対しては、硬化療法による治療を行っています。（次頁参照）



深部静脈血栓症

俗にエコノミー症候群とも呼ばれる病気です。

長期間の安静などで、下肢の静脈内に血の塊（血栓）が生じることで、下肢の腫脹、疼痛などが出現します。また、血の塊（血栓）が肺の動脈を閉塞させる肺塞栓を発症した場合には、命に係わることもあります。

当院では、まず血栓の状態を検査し（造影CT、下肢US）、必要あれば入院加療なども行っています。

透析用シャントの造設、維持

透析用のシャント（腕の動脈と静脈を吻合）が必要となった方に、シャントの手術を行います。また、シャント自体が、時間とともに狭くなる（狭窄）してくる場合があるため、定期的にメンテナンス（カテーテル治療）を行うこともあります。

フットケア外来

閉塞性動脈硬化症や下肢静脈瘤によって、足の傷（潰瘍病変など）ができることがあります。その際に、入院治療は必要がないが、定期的に足の観察、創部の処置が必要となることも多いです。定期的に足の状態を観察しながら、適切な創部処置を行うことで、入院を行わなくても、足の傷が良くなることも多く、フットケア外来として定期的に足の治療、経過観察を行っています。

特色

血管外科は、手術、カテーテル治療などの観血的治療から、保存的治療、外来通院での投薬治療など内科治療も合わせて行っています。また、患者の全身状態や、社会的背景などを考慮しながら治療内容を決定していきます。

特に、下肢病変に対して総合的にアプローチするため、血管疾患に限らずフットケアとして、足全般に対しても積極的な検査、治療を行っています。

